

製品名: XPO4 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe01964**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IP
反応性	人間、ネズミ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 130 kDa; Observed MW: 130 kDa

抗原情報

遺伝子名	XPO4
別名	exp4
遺伝子 ID	64328
SwissProt ID	Q9C0E2
免疫原	ヒトエクスポーチン 4 の合成ペプチド

背景

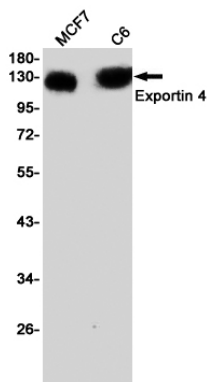
幅広い基質特異性を持つタンパク質（貨物）の核外輸送を媒介する。核内では、その貨物と活性型 GTP 結合 GTPase Ran に協調的に

結合し、活性化GTP結合型となる。この三量体複合体は、核膜孔複合体 (NPC) にドッキングし、核膜孔タンパク質 (NPC) に結合する。核外輸送複合体が細胞質へ輸送されると、複合体の分解と Ran-GTP から Ran-GDP への加水分解 (それぞれ RANBP1 と RANGAP1 によって誘導) により、輸送受容体から貨物が放出される。その後、XPO4 は核内に戻り、新たな輸送経路を媒介する。核外輸送の方向性は、GTP 結合型および GDP 結合型の Ran が細胞質と核の間で非対称に分布することによって決まると考えられている。

研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

画像データ



XPO4 抗体を使用した MCF-7、C6 溶解物中の Exportin 4 のウェスタンブロット分析。